

第5回下水道スタートアップチャレンジ 脱炭素社会実現に向けた下水道資源の活用

趣旨説明資料

MRI 三菱総合研究所

2021年8月18日

50th
Anniversary

下水道資源×異業種技術 で 脱炭素社会 に貢献！

コンセプト例 ①

下水処理場のCCS拠点化

- 周辺の工場からCO₂を回収し下水で藻類培養
- 生産された藻類はバイオマスとして利用

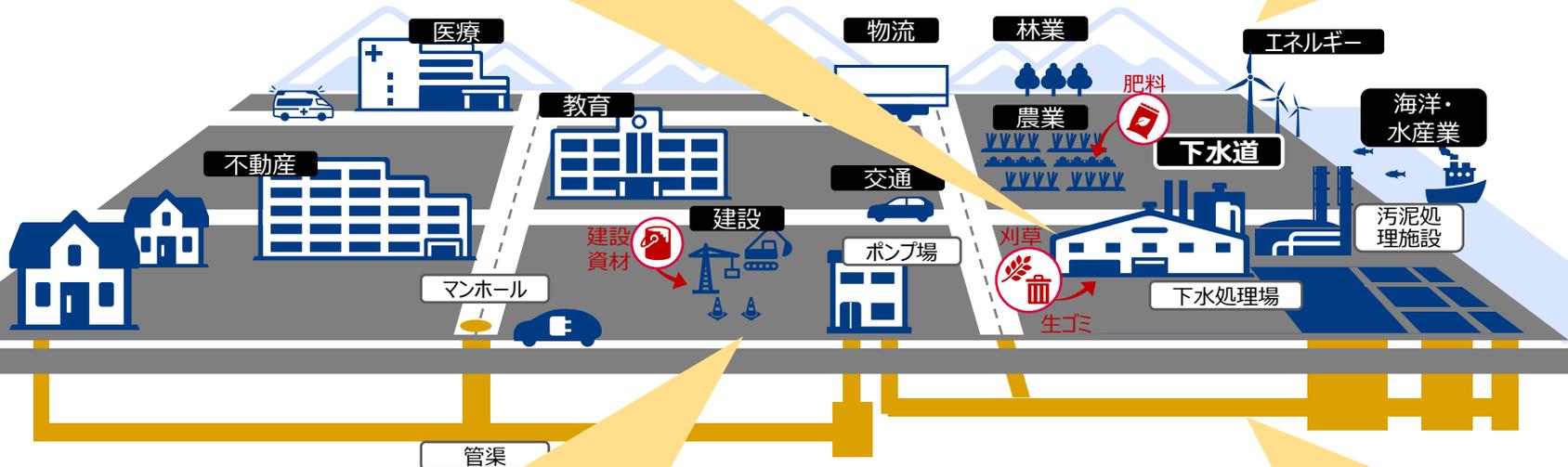
藻類

コンセプト例 ③

再エネを最大限に活用した下水処理場

- 下水道施設をマイクログリッドの一部に位置づけ
- 汚泥処理プロセスを電化し化石燃料消費を削減

電気



コンセプト例 ②

下水汚泥の高付加価値化

- 下水汚泥を高付加価値商品として再利用
- フィルターなど化学製品としての再利用提案あり

汚泥

コンセプト例 ④

DXを活用した下水道施設管理の最適化

- 下水道分野の情報を集約し施設管理を最適化
- ゲーミフィケーションで情報を収集する発想も

情報

本日、ご認識いただきたいこと

【異業種の皆さま】

- 下水道事業はどんなところか？
- 脱炭素社会への変化を契機として、下水道分野への参入は可能か？

【下水道業界の皆さま】

- 異業種から見た下水道業界のイメージとは？
- 提案された要素技術を下水道事業に適用することは可能か？

【すべての参加者の皆さま】

- 連携して実証事業に取り組むことが出来そうな参加者はいるか？
- 第6回下水道スタートアップチャレンジ(2021年11月)では、事業化に向け、より踏み込んだ議論ができる場をご用意させていただく予定です